

市町村名	半田市	窓口	半田市子ども未来部子育て相談課
住所	〒475-8666 半田市東洋町2-1		
電話	(0569) 84-0645	FAX	(0569) 84-0610
E-mail	boshihoken@city.handa.lg.jp	URL	https://www.city.handa.lg.jp
【周産期医療機関へのPRコメント】			
母子健康手帳交付			
場所	集団交付：保健センター、個別交付：半田市役所2階子育て相談課		
交付方法	集団交付、個別交付（どちらも個別面接あり）		
スタッフ職種	保健師		
→保健師以外の場合の気 になるケースへの対応			
市町村独自アンケート	独自アンケートを実施		
内容・特徴	個別相談に応じながら、必要な妊婦には妊娠期から電話や家庭訪問等の継続支援につなげる。必要に応じ、産科医療機関との連携を図る。		
こども家庭センター			
(有) ・ 無（設置予定時期）			
名称	半田市子育て相談課		
場所	半田市役所2階		
スタッフ職種	保健師、公認心理師、保育士、要対協調整機関、家庭児童相談員、利用者支援専門員		
内容・特徴	妊娠期（妊娠・出産）から子育て期（0歳～18歳）までの子どもと家庭が安心した生活を継続できるよう、それぞれの家庭の状況に応じた切れ目ない支援を実施		
パパママ教室・両親学級等			
名称	パパママ教室		
時期・回数	年9回（休日6回、平日3回）		
会場	保健センター		
対象者	妊婦とその夫（家族の方も参加可能）		
スタッフ職種	助産師、保健師		
申込み方法	予約制（電子申請システムLoGoフォーム）		
内容・特徴	助産師による「育児の心構え」等の話、沐浴、おむつ交換、妊夫体験など		
子育て支援に関する事業（多胎児・外国人・転入者対象、MCG等）			
名称	個別支援		
時期・回数	必要時		
会場			
対象者	個別支援が必要な方		
スタッフ職種	保健師		
申込み方法	電話、メール、窓口など		
内容・特徴	本人からの申請。本人の了解が得られていれば、医療機関等から依頼を受けて支援することも可能。		

マタニティサロン・広場等	
名称	
時期・回数	
会場	
対象者	
スタッフ職種	
申込み方法	
内容・特徴	
産前・産後サポート事業／産前・産後ヘルパー	
名称	妊産婦家庭サポート事業
時期・回数	母子手帳交付日から産後6か月までの期間（多胎の場合は産後1年以内）で、15日間を限度とし、1回の派遣は2時間以内
場所	対象者の家庭
対象者	母子健康手帳交付日から産後6か月までの期間（多胎出産の場合は産後1年以内）で妊産婦の体調不良などで日常生活を営むのに支障がある家庭 ※出産前の場合は、切迫流産等により医師から安静を指示された方
スタッフ職種	ヘルパー
利用方法	利用希望について子育て相談課へ事前申請
内容・特徴	支援員による育児・家事支援を実施 ※所得に応じ、1時間当たりの費用負担あり
産後ケア事業	
名称	産後ケア事業
会場	（訪問型） 利用者の自宅 （日帰り型・宿泊型） 知多半島総合医療センター（半田市横山町） かとう助産院（半田市向山町） ふたばクリニック（半田市吉田町） あいち小児保健医療総合センター（大府市） 公立西知多総合病院（東海市） 八千代病院（安城市） 広川レディースクリニック（大府市） 広渡レディースクリニック（阿久比町）
対象者	出産後1年未満の産婦とその乳児で、産後のケアを必要とする方 （4か月以降は利用できる施設やサービスに制限あり）
スタッフ職種	助産師、看護師等
利用方法	訪問型：子育て相談課へ利用希望を伝える。日程調整の後、助産師が自宅へ訪問。 日帰り型・宿泊型：利用希望について子育て相談課へ事前申請し、決定（通知）後、対象施設でサービスを開始。
内容・特徴	母と子の心身ケアや育児指導を実施 （宿泊型・日帰り型・訪問型から選択）

	※利用料：半田市から一部助成あり			
子育て世帯訪問支援事業		養育支援訪問事業 専門的相談支援		
対象者	養育支援が必要な家庭	妊娠期から子育て期にわたり養育支援が必要な家庭		
スタッフ職種	ヘルパー、家庭児童相談員	保健師		
里帰り先への訪問	市内のみに限る	状況により、里帰り先の自治体へ依頼をする		
申込み方法				
内容・特徴	対象者と目標を設定し、達成するための支援内容、方法、スケジュール等に基づき、訪問支援を実施	必要に応じて養育環境や能力にあわせた家庭訪問を実施		
	妊娠中の家庭訪問	新生児訪問	未熟児訪問	こんにちは 赤ちゃん訪問
対象者	希望した妊婦、支援を必要とする妊婦	支援を必要とする産婦および新生児	未熟児のいる家庭	生後2か月頃の乳児のいる家庭
時期	妊娠期間中	おおむね生後28日まで	乳児期	生後2か月まで
家族からの申し込み方法	電話、窓口	電話、窓口	電話、窓口	不要
医療機関からの依頼方法	母子連絡票、電話	母子連絡票、電話	母子連絡票、電話	母子連絡票、電話
スタッフ職種	保健師	保健師	保健師	家庭児童相談員、主任児童委員、保健師
里帰り先への訪問	半田市内であれば可能 (半田市外の場合、訪問対象者からの希望、里帰り先の市町村での許可が必要。)	半田市内であれば可能 (半田市外の場合、訪問対象者からの希望、里帰り先の市町村での許可が必要。)	半田市内であれば可能 (半田市外の場合、訪問対象者からの希望、里帰り先の市町村での許可が必要。)	半田市内であれば可能
内容	育児不安等がある家庭を対象に保健師が訪問指導を実施。また、継続支援のため、関係機関等と連携を図る。	出産後、母子が心身に健康な状態で育児ができるように促す。	育児不安、育児ストレス等がある家庭を対象に保健師等が訪問指導を実施。	家庭を訪問し、出産祝い品を届け、子育てに関する情報提供を実施。
育児相談		電話相談		
担当部署	子育て相談課	子育て相談課		
名称	すくすく健康相談	保健師等による電話相談		
時期・回数	毎月第1月曜日(年12回)	平日 8:30~17:15(水曜日は19時15分まで)		
場所	保健センター	半田市役所2階		
対象者	発達、育児に関して心配のある親と子	妊婦、乳幼児のいる家庭		

スタッフ職種	医師（小児科医）、保健師、看護師、公認心理師、栄養士	保健師
方法	子育て相談課へ事前に申込みが必要	
内容・特徴	子どもの発達・育児に関して相談に応じ、必要な支援につなげる	妊娠、出産、乳幼児健康診査、育児、予防接種のこと
離乳食教室・子育て教室等		
名称	離乳食講習会	生まれ！だし丸くんジュニア
方法	集団	集団
時期・回数	毎月第4金曜日（年12回）	毎月第4金曜日（年12回）
会場	保健センター	保健センター
対象者	生後4～5か月頃の乳児をもつ親	生後10～11か月頃の乳児をもつ親
スタッフ職種	栄養士、歯科衛生士、保健師、食生活改善推進員、子育てFunくらぶ	保健師、看護師、保育士、歯科衛生士、子育てFunくらぶ
申込み方法	なし	なし
内容・特徴	離乳食の進め方や作り方などを栄養士から、口の機能や歯みがきのやり方を歯科衛生士から説明。参加者、Funくらぶサポーター、保健師で座談会を実施。	1歳前の時期に発育を促すために心掛けたい生活習慣を中心とした座談会や、歯磨きについての講話、月齢に合わせた遊びなどを体験できる教室を実施。
5歳児健診		
(有) ・ 開始予定（令和7年度） ・ 無		
名称	5歳児健診	
方法	対象者全員に対しアンケートを実施し、その結果により集団健診を案内する	
時期・回数	集団健診年8回	
対象	年中児に相当する年齢の児とその保護者	
健診事後教室等		
名称	たんぼぼの日（1歳6か月健康診査の事後指導教室）	たんぼぼの日（就園前）
方法	親子体操、手遊び、歌遊び、公認心理師・保健師の話、個別相談	リズム遊び、体育遊び、心理士・保健師の話、個別相談
場所	保健センター・ふたば園	ふたば園
対象者	1歳6か月児健康診査等で精神面、保育面において経過観察が必要な児とその保護者	すくすく健康相談、3歳児健康診査等で、精神面、保育面において経過観察が必要な次年度就園予定児とその保護者
スタッフ職種	公認心理師、保育士、保健師	公認心理師、保育士、保健師
利用方法	保健センターへ事前申し込みが必要	保健センターへ事前申し込みが必要
内容・特徴	親子でのふれあい遊びを通して、スタッフと一緒にお子さんの発達を促すための関わりを考える教室。	親子での集団遊びを通して、お子さんの成長・発達を促していくための対応を一緒に考える教室。
思春期保健に関する事業		その他事業
名称	性教育	すこやかベビー応援コール

時期・回数	各中学校 1 回（市内 5 中学校） 市内高等学校 1 回	産後 2 週間～1 か月頃
対象者	中学 3 年生、高校生	産後 2 週間～1 か月の産婦と新生児
スタッフ職種	保健師	助産師、保健師
申込み方法	各学校と調整	なし
内容・特徴	命の大切さ、妊娠・出産することの責任の重さ、性の欲求に対する異性間の違い、性感染症とその予防について等授業形式で実施。	母の精神面が不安定になりやすく、育児に対する不安も増加しやすい産後 2 週間頃に、産婦の体調確認、新生児の健康状態の確認、子育て等に関する電話相談を行い、状態により必要な支援やサービスにつなぐ。